

リーグ戦におけるガイドラインについて

1 はじめに

バスケットボールという競技の特性において、「3密」は避けられない。また、熊本市立小学校の体育館は狭い体育館が多い。「高齢者が同居している」「近親者に感染リスクが高い人がいる」などの家庭事情がある選手がいても、安心して大会に参加できることが必要である。

以上を踏まえて『新しい日常』になり、以前のような活動ができることはない」という前提のもと、指導者や関係するすべての人が協力して大会を運営していくためのガイドラインを作成した。

2 ガイドラインについて

本ガイドラインは日本バスケットボール協会の「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第2版（令和2年9月10日作成）」をもとに作成した。

(1) 大会前に関して

- ① 大会2週間前から体温チェックを行い、記入しておくこと
- ② 大会2週間前から県外への遠征は行わない。
- ③ 大会2週間前から当日までに選手及び指導者が感染した場合は、当該チームは大会に参加することができない
- ④ 大会2週間前から当日までに選手及び指導者が濃厚接触者になった場合は、その選手や指導者は大会に参加することができない

■濃厚接触者の定義（国立感染症研究所感染症疫学センター令和2年5月29日暫定版）

「濃厚接触者」とは「患者（確定例）（「無症状病原体保有者」を含む、以下同じ）の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

1. 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
2. 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
3. 患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
4. その他：手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、患者（確定例）と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）

- ⑤ ①～④以外でも当日に体調不良や味覚障害などが起きた場合は、大会に参加することを見送るようにする。

(2) 大会当日について

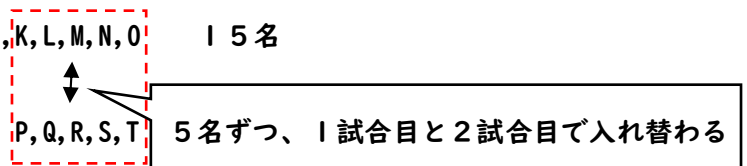
①体育館の収容人数について

- ・体育館に入ることができるのは、申込書にある指導者とベンチ入りする選手15名に加えて、**応援者15名とする。**
- コロナウィルス感染の状況によっては、応援者の人数が変更になる可能性があります。**
- ・**ベンチ外の選手は応援者とする。**
- 今回は、1試合目と2試合目でベンチ入りする選手が代わることがあります。

(例) Zチームは20名で参加する

1 試合目 ベンチ入りメンバー

A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O 15名



※この場合はP, Q, R, S, Tが1試合目は応援者となり、K, L, M, N, Oは2試合目の応援者となる
よって残りの10名に保護者が応援者として入る。

②体育館の使用方法について

・使用面は1コートのみ

→今回は、フロア内に待機場所がない会場があります。その場合は、会場チームの指示する場所をお願いします。

・試合が終了したチームが完全に退出してから次に試合するチームが入場すること

・体育館に出入りするときは必ず消毒すること

・選手はフロア以外ではマスク着用。練習しているときは外してよい。指導者及び保護者は必ずマスク着用すること。(過敏症などで着用できないときは、監督会議のときに各チームに知らせること)

③チームが行うこと

・大会当日の朝、「健康管理チェックシート(別紙1)」を記入し、チーム責任者がメンバー表とともに本部に提出すること。(チェックリストは、協会が3か月保存する)

→1試合目と2試合目にメンバーが入れ替わる場合は、応援者の氏名の後に「②」と朱書で記入すること

・チームIDを首からさげる。(IDをさげていない人はフロア内に入ることができない。)

→IDの番号は「健康管理チェックシート」の番号と一致すること

・各チーム感染対策防止のため、「アルコール消毒」「手洗い用ペーパータオル」を持参する。

・クーラーボックス等、共用するものを減らす(使うものは自分のものだけ)

・開始10分前のコート挨拶は大きな声にならないようにする

・声を出していい時は、試合開始10分前のコート挨拶とプレー中のみとする。

(選手の試合前の声出し及びベンチでの応援は禁止。また、指導者の大声での指導も禁止とする。)

・アップ時の円陣は禁止

・試合開始と終了時のあいさつの後の握手なし(選手間、コーチ間、審判とコーチ)。

・選手のベンチや応援席は、間隔をあける

(最低1mは間隔をとるようにする。また、会場校で設置した場所を動かすことがないようにする。)

・出場後やハーフタイムの時には手洗いや消毒を行う

・試合終了の挨拶の後の相手チームへの挨拶は禁止

・使用したベンチは、必ず当該チームで消毒し退出すること

・T0で使用したもの(タイマー、得点板、モップ)は、大会本部が消毒する。

・T0で使う筆記用具は、各チームで用意する。

・試合球は、チームで準備しておくことが望ましい。

・弁当を含めチーム内のゴミは必ず持ち帰ってもらう(飲みかけの飲料水を手洗い場などに捨てることも禁止する)

④ 審判について

- ・「健康管理チェックシート（別紙Ⅰ）」に該当しない人が帯同審判になる場合は、JBAにある審判用の体温チェックシートを使用し、大会本部に提出すること。提出しない場合は、体育館に入ることができない。尚、体育館に入れるのは審判をする試合開始から20分前とし、終了後は、大会役員席または体育館の外で待機しておくか、帰宅をすること。
- ・電子ホイッスルを使用してもよい。

(3) その他

① 保護者の観戦について

- ・原則、上記【(2) —①】以外の保護者が敷地内で応援することを禁止する。
→コロナウィルス感染拡大防止のため、送迎のみの保護者が敷地内で待機しておくことを禁止します。しかし、(2) ②の事情により、雨天時に待機する場所がない場合は、車で待機となります。その際は、送迎のみの保護者も敷地内で待機をお願いします。ただし、その人たちが体育館の窓やドアからの応援はできません。
- ・特別な事情がある場合は、リーグ戦担当者（杉谷）に連絡をして相談すること。

② 大会中止について

- ・熊本市からの要請等を考慮して、中止を決定する。